



2023年3月23日

各位

会社名 空港施設株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 乗田 俊明  
(コード番号 8864 東証プライム市場)  
問合せ先 上席執行役員総務部長 安田 貴  
(Tel 03-3747-0251)

### 上場維持基準の適合に向けた計画

当社は、2022年12月時点において、プライム市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年12月時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、「1日平均売買代金」については基準に適合していません。当社は、上場維持基準に適合するために各種取り組みを進めてまいります。

なお、計画期間につきましては、「1日平均売買代金」の増加には一定程度の期間を要すると考えており、また、東京証券取引所が2023年1月30日に公表した「上場維持基準に関する経過措置の取扱い等について」によれば、「2025年3月1日以後に到来する上場維持基準の判定に関する基準日から、本来の上場維持基準を適用する」との方針が示されていることから、「1日平均売買代金」の判定が12月末であることも踏まえ、2025年12月末までとしております。

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率	1日平均 売買代金
当社の状況	7,142人	193,246単位	103億円	36%	0.19億円
上場維持基準	800人	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
計画期間					2025年12月末

※当社の1日平均売買代金についての適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものであり、その他の基準についての適合状況は当社試算によるものです。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた当社の課題、基本方針及び取り組み内容

##### (1)課題

「1日平均売買代金」を増加させるためには、当社の株式価値を向上させることが課題と考えております。

##### (2)基本方針

当社の株式価値を向上させるために、IRや株主還元の充実に取り組んでまいります。

### (3)取り組み

#### ①IRの充実

当社は、株主や投資家との建設的な対話を促進するため、担当部署として経営企画部広報・IR室を設け、積極的にIR活動に取り組んでおります。

アナリスト向け決算説明会を年2回開催しておりますが、アクセスの良い会場へ変更するなど利便性確保にも努めております。また、必要に応じIRミーティング・インタビューを実施し、2023年度は株主様向けの施設見学会開催の再開も検討しております。

当社ホームページでは、決算説明会の資料や年2回株主様向けに発送している「AFC REPORT」を掲載している他、2022年度より、ステークホルダーの皆様を経済的価値と社会的価値の両立を追求し、持続的に成長する姿をご理解いただくため、統合報告書を作成し掲載しております。その他、当社ホームページにおいてもタイムリーに積極的に開示してまいります。

そして、海外投資家向けにIR資料の英文開示も積極的に実施しております。英語版のホームページを開設し、決算短信や決算説明会資料、「AFC REPORT」の英訳版を掲載する他、株主総会招集通知(一部)についても2022年6月開催分より英訳版を掲載しております。

今後も、IRを充実させ、株主の皆様への情報提供に努めてまいります。

#### ②株主還元の充実

安定した経営基盤の維持、新たな事業機会や投資機会に備えるための内部留保、中長期的な業績見通しなどを考慮しながら、それらと配当性向のバランスを重視することを当社の株主還元策の基本方針としております。2022年5月に策定した中長期経営計画では、従来30%以上としていた連結配当性向を、40%以上を目指すことに変更いたしました。

また、株主優待の内容についても、2月22日にプレスリリースした通り、従来の提携ホテルの割引券から、当社グループ会社が運営する「ブルーコーナー」のお食事券へ変更いたしました。「ブルーコーナー」は、羽田空港内(新整備場地区)にある飛行機を見ながらお食事出来るレストランで、当社事業の拠点である羽田空港をより身近に感じて頂くことを目的としております。

今後も、経済状況や業績・財務状況等を踏まえながら、株主還元の充実を目指してまいります。

(参考)

- ・当社プレスリリース「株主優待制度の変更について～テレビで話題！飛行機の見えるレストラン「ブルーコーナー」で楽しいひと時を～」

<https://www.afc.jp/wp/wp-content/uploads/media/6990df540808884c46fb936bd2362dd5.pdf>

- ・当社中長期経営計画(2022年度-2028年度) <https://www.afc.jp/ir/plan.html>

なお、中長期経営計画は、1) 羽田空港一丁目プロジェクト、2) ノンアセット事業の拡大、3) 既存事業の高収益化を3つの重点施策としております。直近では、2)のノンアセット事業の第1号案件として、広島県広島市の事務所ビルを取得しました。今後も新たな販売用不動産物件の取得及びバリューアップを進めてまいります。

- ・当社IR情報 <https://www.afc.jp/ir/>
- ・当社英語版ホームページ <https://www.afc.jp/english/>

以上